

2018年11月2日

## 2018年度前期授業評価のまとめ

教務学生委員会

今年度前期の授業評価アンケート調査の結果概要を以下にまとめる。ほとんどの基幹教員、講師から回答が得られ、参加率は非常に高い。概要を以下に記す。

	登録学生数 (研究生含)	回答者		設問 III-1-1 : 授業満足度					設問 III-1-3 : 授業達成度				
		数	%	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
研究科共通科目	144	136	94	2	5	19	54	56	0	1	17	65	53
専攻内科目	275	224	82	2	2	16	74	130	3	0	15	81	125
<b>合計</b>	<b>419</b>	<b>360</b>	<b>86</b>	<b>4</b>	<b>7</b>	<b>35</b>	<b>128</b>	<b>186</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>32</b>	<b>146</b>	<b>178</b>

※設問 III-1-1 は、問い「全般的に、授業内容は満足できるものでしたか」への回答分布。設問 III-1-3 は、問い「その授業目的が達成されたと思いますか」への回答分布。いずれも5が最も高く、1が最も低い。

### 【総評】

1. 設問 III の満足度・達成度ともに、昨年度とほぼ変わらず、平均して高い評価を受けている。
2. 学生からの要望・意見として、グループディスカッション・ディベート・事例研究・ロールプレイ・ビデオ教材等を用いたインターアクティブな授業内容を評価する意見が多くみられた。また、学生によって授業中の発言機会にばらつきがあるため、できるだけ全員が発言できるような雰囲気づくりを求める声があった。授業の前に読んでくるべき読書課題の量については、多すぎるという声と少なすぎるという声の両方が見られた。
3. 教員の意見としては、学生の基礎知識の量にばらつきが大きいことに対する対応策や、よりインターアクティブな授業構成を工夫するためのアイデア等が提案された。